

総称 **日本ものづくりワールド 2016**

第27回 **設計・製造ソリューション展 DMS** 第20回 **機械要素技術展 M-Tech**  
第7回 **医療機器 開発・製造展 MEDIX** 第24回 **3D&バーチャルリアリティ展 IVR**

会期: 2016年6月22日(水)~24日(金) 10:00~18:00 24日(金)のみ17:00終了  
主催: リード エグジビション ジャパン株式会社 会場: 東京ビッグサイト

## 世界最大級のものづくり専門展 過去最多2,350社が出展!

リードエグジビションジャパン株式会社(本社:東京都新宿区代表取締役社長石積忠夫)は2016年6月22日(水)~24日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて「第27回 日本ものづくりワールド」を開催致します。

「第27回 日本ものづくりワールド」は、世界中の機械要素・加工技術が集まる「第20回 機械要素技術展」、製造業向けITソリューションの「第27回 設計・製造ソリューション展」、医療機器向け部品・デバイスの専門展である「第7回 医療機器 開発・製造展」、そして「第24回 3D&バーチャルリアリティ展」の4つの専門展で構成されます。

本展は国内外から2,350社が出展、83,000名の来場を予定しています。

展示会招待券(無料)請求は展示会HPで受付中です(展示会HP: <http://www.dms-tokyo.jp/>)。

### 【開催概要】

総称: 日本ものづくりワールド 2016  
会期: 2016年6月22日(水)~24日(金)  
10:00~18:00 24日(金)のみ17時 終了  
会場: 東京ビッグサイト  
(東京都江東区有明 3-11 -1)  
主催: リード エグジビション ジャパン(株)  
展示会HP: <http://www.dms-tokyo.jp/>

#### 構成展示会:

- 第20回 機械要素技術展
- 第27回 設計・製造ソリューション展
- 第7回 医療機器 開発・製造展
- 第24回 3D&バーチャルリアリティ展

出展社数/来場者数見込み: 2,350社/83,000名



2015年6月開催「第26回 日本ものづくりワールド  
(於:東京ビッグサイト)」の会場風景

## 第20回 機械要素技術展 (M-Tech)

機械要素、加工技術を一堂に集めた日本最大※の専門技術展。製造業の設計、開発、試作、製造、生産技術、購買、保全・メンテナンス、品質部門や経営者にとって、最適な機械要素・加工技術を効率的に導入・比較検討できる場として、欠かせない展示会となっています。

※同種の展示会との出展社数および製品展示面積の比較。

### ① 製品カテゴリーごとに、17の特設フェアを設置

本展は製品カテゴリーごとに17の専門フェアを特設しています。

- モーション技術 フェア
- 配管部品 フェア
- ねじ・締結技術 フェア
- 微細・超精密加工 フェア
- 表面処理・改質 フェア
- 工具・加工機 フェア
- モータ フェア
- 油空圧機器 フェア
- ばね フェア
- 難削材加工 フェア
- バリ取り・表面仕上げ フェア
- 試験・計測機器/センサ フェア
- 摩擦・摩耗対策 フェア
- 機構部品・関連製品 フェア
- 機械材料・加工技術 フェア
- 大物・厚物加工 フェア
- 洗浄 フェア

### ② 日本全国から100の自治体・公共団体も出展！

本展は、「国内最小のねじ」や「日本唯一の精密加工技術」など、特徴ある技術力を持つ企業が日本全国から一堂に集まることが大きな特徴です。その出展社の多くは、大田区などの中小企業であるため、中小企業支援を目的とした自治体パビリオンも年々増加し、2015年には全国から91の自治体が出展しました。今年も北は北海道、南は沖縄まで、約100の自治体・公共団体の出展を見込みます。

展示会場内の随所では、出展ブースの技術者と来場者との間で、設計図面を広げながら製品開発に向けた真剣な技術商談が行われています。例年、本展をきっかけに、様々な特注品が誕生しており、技術力のある企業と来場者との絶好のビジネスの場となっております。

### ③ 海外出展社は14%、海外来場者は32%拡大

ものづくり業界のグローバル化を受け、事務局ではグローバルなビジネスマッチングに力を入れています。海外からは、世界22カ国・地域※より前年比14%増の約365社※が出展、海外来場者はアジア大手製造業を中心に前年比32%増の2,500名※を見込みます。

また、海外出展社の見どころを1冊にまとめた「海外出展社ガイドブック(無料)」の提供も予定しています。事前請求は事務局で受付中です。( [mtech-tokyo@reedexpo.co.jp](mailto:mtech-tokyo@reedexpo.co.jp) )

※予定。同時開催展を含む。

## 第27回 設計・製造ソリューション展 (DMS)

製造業向けITソリューションが一堂に出展する日本最大※の専門展。設計・開発期間の短縮やコストダウン、グローバル化への対応などの課題解決に最適な製品・技術を効率的に導入・比較検討する場として、製造業の情報システム、設計、開発、解析、試作、製造、生産技術、生産管理、経営企画、品質、購買部門や経営者にとって欠かせない展示会となっています。

※同種の展示会との出展社数および製品展示面積の比較。

### ① 特別企画『事前アポイントシステム』

展示会をより効率的に活用するための特別企画として毎年好評の『事前アポイントシステム』。『事前アポイントシステム』とは、展示会に来場する前に探している製品や抱えている課題を登録すると、条件に合った出展企業から提案メールが届き、事前に打ち合わせをすることで、会期当日に効率よくブースを回ることが出来るシステムです。

来場者にとっては、この『事前アポイントシステム』を利用することで、「あらかじめ行くべきブースがわかり、広い会場を効率よく回れる」「事前に課題を伝えているため、課題に合った具体的な提案が受けられる」「システムが自動的に絞り込むため、自分で調べる手間が省ける」といった大きな利点があります。詳細はこちらから ⇒ <http://www.dms-tokyo.jp/To-Exhibit/Apposys/>

### ② 製品カテゴリーごとに、9の特設ゾーンを設置

本展は製品カテゴリーごとに9の専門フェアを特設しています。

- CAD & PLM/PDM ゾーン
- CAM ゾーン
- CAE ゾーン
- 3Dプリンタ/RP ゾーン
- 3次元測定ゾーン
- SCM・ERP・生産管理システム ゾーン
- 図面管理・文書管理ゾーン
- 技術伝承・技術者教育ゾーン
- 設計・製造アウトソーシング ゾーン

### ③ 本田技術研究所、マツダ・オリンパスの役員が登壇！

併催のセミナーでは、今年も製造業に関する様々なテーマを体系的・効率的に学べる絶好の場となっています。日本ものづくりワールドの基調講演では、(株)本田技術研究所 四輪R&Dセンター 執行役員 板井 義春氏が登壇し、特別講演では、マツダ・オリンパスの役員が「ものづくり現場の最前線」を語ります。その他、設計・製造ソリューション展の特別講演では日立建機のIT部門トップが登壇するなど、製造業を代表する企業のものづくり事例が満載の内容となっています。

定員になり次第締切となりますので、ご希望のセミナーは、早急にお申込みされることをお勧めいたします。詳細プログラムは、4月下旬以降に展示会ホームページにて公開予定ですので、ぜひチェックください。( <http://www.dms-tokyo.jp/seminar/> )

## 第7回 医療機器 開発・製造展 (MEDIX)

医療機器を開発、製造するための技術が集まる専門展。日本および先進国の高齢化に伴い、医療機器市場が急拡大し、日本のものづくり技術をこの分野に活用することが期待されています。これを受け、医療機器メーカー、新規参入メーカーの設計、開発、研究、試作、製造、生産技術、購買、調達、品質部門や経営者にとって、高度な技術を持つ企業と直接商談ができる場として、必見の展示会となっています。

### ① 製品カテゴリーごとに、4の特設ゾーンを設置

本展は製品カテゴリーごとに4の専門フェアを特設しています。

- 試作・加工技術ゾーン
- 電子部品ゾーン
- 試験・計測機器/センサ ゾーン
- OEMゾーン

### ② 今後の医療機器開発の展望を語る！ 専門セミナーを併催

併催のセミナーは、医療機器メーカーだけでなく、医療機器分野に参入を考える人々にとっても大変充実した内容になっています。初日の特別講演では、経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長 土屋 博史氏に、医療機器政策の最新情報をお話いただきます。また、基調講演では、国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター長 妙中 義之氏と、医療機器センター 理事長の菊地 真氏より「医療機器開発・製品化の課題と今後の展望」についてご講演いただきます。

その他、医療用ソフトウェアの最新動向や医療分野への新規参入のポイントがわかる講演をはじめ、医療機器ビジネスの海外展開、医療用ロボットの研究開発の事例など、いずれも必聴のセミナーです。詳細は、4月下旬以降に展示会ホームページにて公開予定ですので、ぜひチェックください。

(<http://www.medix-tokyo.jp/seminar/>)



(問合せ先)リード エグジビション ジャパン(株) 広報担当: 白石 夏子 E-mail: shiraishin@reedexpo.co.jp  
〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18F TEL:03-3349-8506 FAX:03-3349-8500

## 第24回 3D&バーチャル リアリティ展 (IVR)

3D技術の全てが一堂に会する日本最大※の専門展。「3D技術」と、仮想現実を作り出す最先端技術「バーチャルリアリティ」が出展する最も先進的なテクノロジーが出展するユニークな見本市です。製造業、建設業、建築・不動産業、交通インフラ、官公庁、大学・研究機関、放送局、通信事業者、コンテンツ・映像製作会社、広告・ディスプレイ業、アミューズメント業、レジャー施設などの方々が多数来場し、出展企業との活発な商談が行われています。 ※同種の展示会との出展社数および製品展示面積の比較。

### ① 最先端技術・製品の導入や比較検討ができる！

会場では多数の出展社が「製品体験コーナー」を設けており、直接製品に触れて実際の動作や操作性を体験することができます。また「商談コーナー」を設置し、導入事例や導入メリットを説明できる専門の技術者を常駐させています。各産業分野の様々な課題に対して、専門の技術者に最適な製品・技術を提案してもらえる場として非常に有効的です。



### ② 製品カテゴリーごとに、5の特設フェアを設置

本展は製品カテゴリーごとに5の専門フェアを特設しています。

- AR フェア
- 3D CG フェア
- 3D地図・GIS フェア
- 3Dディスプレイフェア
- 3次元デジタイザ フェア

### ③ 3D・VR技術の最新動向や活用事例がわかるセミナーを併催

併催のセミナーは、最先端の3DやVR技術について学べる場として、毎年多くの専門家の方に有効にご活用いただいております。基調講演では、以下の3名の講演が聞ける充実の内容となっております。ヤマハ発動機(株) 執行役員 デザイン本部 本部長 長屋 明浩氏に同社の3D・VR 技術の活用についてお話いただくほか、東京大学 名誉教授 舘 暲氏と、東京大学大学院 教授 廣瀬 通孝氏にはVRの最新技術動向についてお話しをいただきます。

その他、3D・VR技術を活用した「ものづくり事例」のほか、ヘッドマウントディスプレイの開発事例、建築分野におけるBIM活用事例などを紹介します。詳細プログラムは、4月下旬以降に展示会ホームページにて公開予定ですので、ぜひチェックください。( <http://www.ivr.jp/seminar/> )